

【食農科学研究科（修士課程）アドミッション・ポリシー】

令和4年9月14日食農学類教員会議制定

(1) 食農科学研究科のアドミッション・ポリシー

食農科学研究科は、農林水産物の生産環境、栽培・収穫、加工、販売まで、すなわち「農場から食卓まで」を一連のプロセスとして捉える俯瞰力を持ち、最先端の高度な知識を絶えず更新し（情報力）、持続可能性の視点から安心安全な農林業生産と食品生産を牽引し、社会課題の解決に貢献する人材を養成する。

食品科学、農業生産、森林環境、農村環境、農業経済・経営、フードシステムに関する専門知識や技術を実践的に深め、学際的理解力、コミュニケーション能力、グローバルな知見とその応用力、冷静な分析力を身に付けたいと考えている学生を受け入れる。

(2) 各コースのアドミッション・ポリシー

ア. 食品科学コース

食品科学に関する専門知識や技術に興味を持ち、その研究を推進する意欲のある人、食品科学に関する地域や国内外の課題を自ら見だし、専門知識や技術により自ら解決しようとする意欲のある人、大学院で身に付けた高度な専門知識・知見や研究の経験を、福島県及び国内外の社会に活かす意欲のある人を求める。

イ. 農業生産科学コース

農業生産に関する専門知識や技術に興味を持ち、その研究を推進する意欲のある人、農業生産に関する地域や国内外の課題を自ら見だし、専門知識や技術により自ら解決しようとする意欲のある人、大学院で身に付けた高度な専門知識・知見や研究の経験を、福島県及び国内外の社会に活かす意欲のある人を求める。

ウ. 生産環境科学コース

森林環境と農村環境に関する専門知識や技術に興味を持ち、その研究を推進する意欲のある人、圃場レベルから地球レベルといった多様な空間、及び地域社会の環境問題における国内外の課題を自ら見だし、専門知識や技術により自ら解決しようとする意欲のある人、大学院で身に付けた高度な専門知識・知見や研究の経験を、福島県及び国内外の社会に活かす意欲のある人を求める。

エ. 農業経営科学コース

農業経済・経営、フードシステム、地域・農村社会に関する専門知識や技能に興味を持ち、その研究を推進する意欲のある人、現場に立脚して主体的に課題を解決しようとする意欲のある人、大学院で身に付けた高度な専門知識・知見や研究の経験を、福島県及び国内外の社会に活かす意欲のある人を求める。

(3) 入試の際に求める知識・技能・意欲

食農科学研究科での科目の履修と修士論文研究の遂行に必要な知識、技能、意欲を求めます。

- ・農学系大学・学部の学士課程までに学ぶ基礎的な知識
- ・学修・研究に対する主体性と論理的で柔軟な思考力、理解力、応用力及び表現力
- ・社会課題に挑戦する意欲と、その解決のために協働して課題に取り組む意欲

(4) 入学者選抜の基本方針

前記のアドミッション・ポリシーに基づき、入学者選抜を実施します。下の表に示すように、一般選抜、推薦特別選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜の4つの区分で、筆記試験、口述試験及び出願書類を総合的に判断して選抜を行います。

筆記試験、口述試験、出願書類を基に、本研究科が求める知識・技能・意欲を備えているかを総合的に評価します。

表：入学者選抜の区分と試験

入試区分	筆記試験		外国語	推薦書	成績証明書	口述試験	志願理由書
	専門領域	小論文					
一般選抜	○		○		○	○	○
推薦特別選抜			○	○	○	○	○
社会人特別選抜		○			○	○	○
外国人留学生特別選抜	○		○		○	○	○